

令和4年度 第3回社会教育委員の会議 次第

日時：令和5年3月29日（水）午後7時～

場所：学びの里「めいりん」1階コンピュータ室

教育理念昭和

1 あいさつ（委員長）

2 議題

（1）令和4年度生涯学習事業実績について

資料1

（2）令和5年度生涯学習事業について

資料2

（3）第54回東海北陸社会教育研究大会福井大会について

資料3

（4）その他

3 閉会あいさつ（副委員長）

大野市民憲章

九頭竜川の上流にある大野は、清らかな水と空気に恵まれ、緑豊かな自然にはぐくまれてきました。純朴さの中にも幕末の大野丸に象徴される進取の気象と雪国特有のねばり強さで、今日の繁栄を築いてきました。

わたくし 私たちは、美しい自然と輝かしい伝統を受け継ぎ、住みよく生きがいのあるまちづくりを目ざして、市民憲章を定めます。

ひとつ

1. みずみずしさあふれるまちに

わたくし 私たちは、美しい自然を守り、豊かな郷土をつくります。

ひとつ

2. 小さな芽が伸びるまちに

わたくし 私たちは、伝統を受け継ぎ、新しい文化を育てます。

ひとつ

3. 大きくはばたくまちに

わたくし 私たちは、働くことに喜びを持ち、郷土の発展につとめます。

ひとつ

4. あたたかい心のかようまちに

わたくし 私たちは、健康で幸せな家庭をつくり、親切の輪を広げます。

ひとつ

5. 明るくやすらぎのあるまちに

わたくし 私たちは、まちづくりに進んで参加し、住みよいまちを築きます。

(昭和53年10月告示)

*細字の部分は首唱者が読み上げます。太字の部分を全員で唱和してください。

大野市教育理念

明倫の心を重んじ 育てよう おおのびと 大野人

人としての生きる道を明らかにし、進取の気象を育てた明倫の心は、いつの時代においても変わらない大野の学びの原点です。

わたくし 私たちは、この心を大切にして、優しく、賢く、たくましい大野人になるため、学び、育てることに努めていきます。

平成21年3月 大野市教育委員会

明倫（めいりん）とは

大野藩第7代藩主土井利忠（1811～1868年）は、藩の政治や経済の建て直しには、新しい知識を学んだ人材が必要であるという考えに基づき、弘化元年（1844年）に藩校「明倫館」を開設しました。

明倫館の「明倫」という言葉は、「皆人倫を明らかにする所以なり」に由来し、人の生きる道を明らかにすること、すなわち、人として守り、行うべき道を明らかにすることを指しています。

明倫館は、当時としては珍しく、武士の子弟に限らず、広く一般家庭の子どもたちにも門戸を開いて学ばせていました。そして、ここで育った人材は、大野藩の商業や鉱業などを盛んにし、藩財政の再建に大きく貢献したと言われています。私たちは、この史実に基づいて、大野の教育の全てを貫く普遍の理

*教育理念本文は首唱者が読み上げます。太字の文章（宣誓文）を全員で唱和してください。